

**注意**

- ・補給するときは、オイル注入口からゴミなどが入らないようにしてください。オイルをこぼしたときは、完全にふきとってください。
- ・オイルは規定量より多くても少なくとも、エンジンに悪影響を与えます。
- ・銘柄やグレードのちがうオイルを混用したり、低品質オイルを使用しないでください。変質して故障の原因になることがあります。